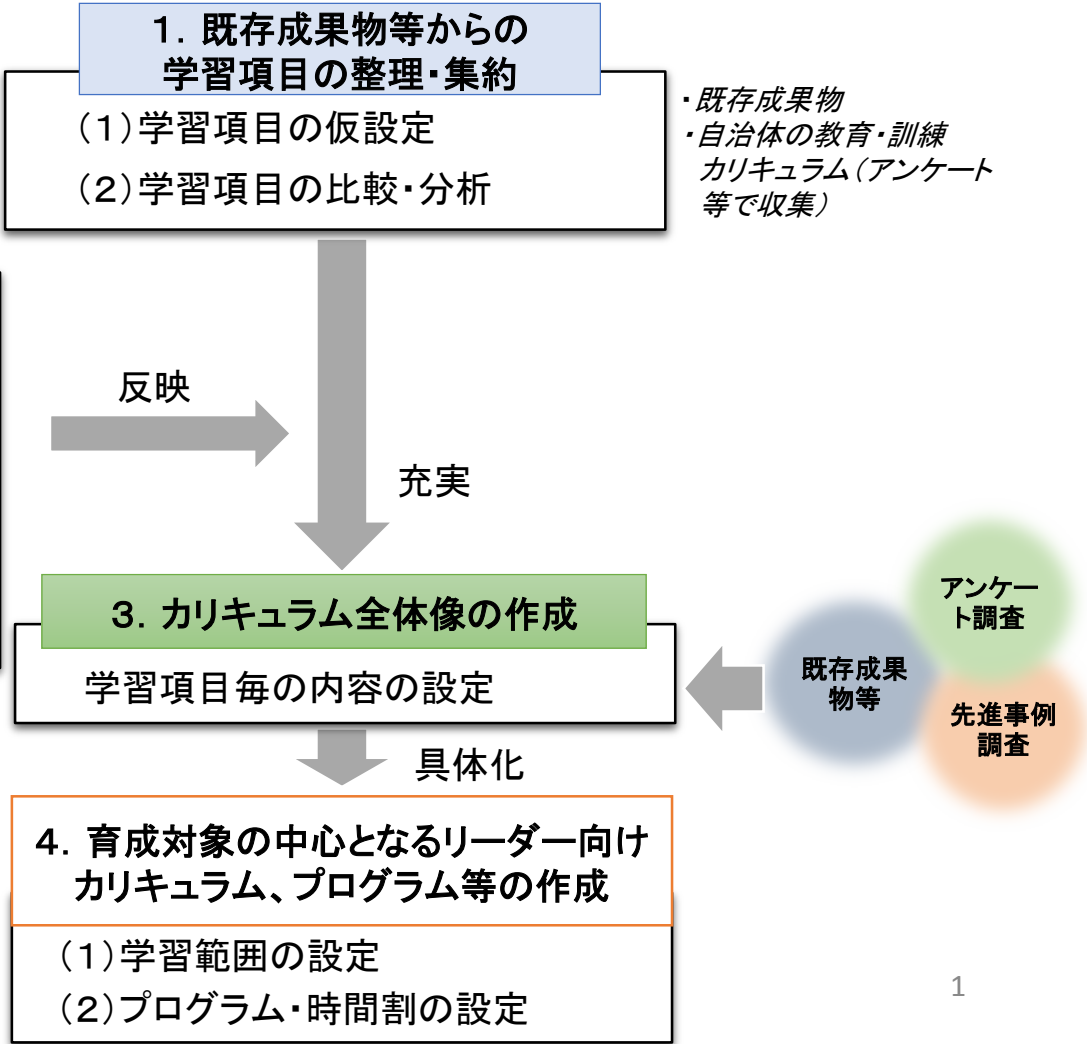
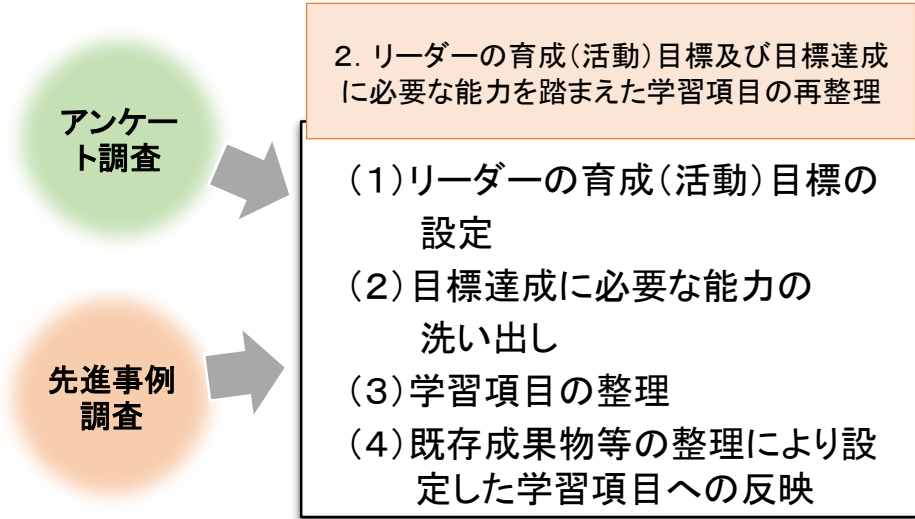


- 自主防災組織等のリーダーを対象とした教育・訓練カリキュラムの作成にあたり、既存成果物、本検討会で実施したアンケート調査及びヒアリング調査により収集したカリキュラムを整理・集約するとともに、アンケート調査等で判明した自主防災組織における教育訓練の実情、要望等を踏まえ、次の流れにより作成を行うこととしてはどうか。

カリキュラム作成の流れ(イメージ)



【今回の検討会の議論いただきたい点】

- ・カリキュラムの作成方針全般
- ・方針中「1.既存成果物等からの学習項目の整理・集約」の学習項目の仮設定の方法

【次回以降の検討会で議論いただく点】

- ・方針中1(1)～4により作成したカリキュラム、プログラム・時間割の内容

1. 既存成果物等からの学習項目の整理・集約

○ 自主防災組織のリーダーや一般住民向けの教育・訓練カリキュラム案が提示されている次の成果物等を整理。

- 成果物① 防災・危機管理教育のあり方に関する調査懇談会報告書(H15消防庁)
- 成果物② 防災研修カリキュラム・講師支援教材(H20消防庁)
- 成果物③ 地域防災リーダー育成用研修テキスト「自主防災リーダー入門」活用の手引(H26内閣府)
- 成果物④ CERT基礎訓練 受講者マニュアル(2011年1月)
- 成果物⑤ リーダーシップ成功のためのCERTツール
- その他⑥ 本検討会のアンケート調査や先進事例調査で収集したカリキュラム

(1) 学習項目の仮設定

リーダー等が学ぶべき構成が整理されている、成果物①のカリキュラムの分類(「基礎」、「災害予防」、「災害応急対応」、「災害復旧・復興」の分類)・区分をリーダーが身につけるべき学習項目として仮設定する。

①で示されているカリキュラムの分類／区分＝「学習項目」

	分類	区分
1	基礎	各災害の基礎知識／地域の災害危険性と被害想定／防災のしくみ／災害に強いまちづくり／地域の防災リーダーの役割／災害ボランティアの役割
2	災害予防	災害に対する備え／地域住民の防災活動の促進／防災訓練・講習会の企画運営／防災資機材の管理／災害ボランティアの活動体制
3	災害応急対応	発災時の対応(災害時にどう対応したらよいか)
4	災害復旧・復興	施設・設備の応急復旧活動／地域の復旧・復興への住民の取り組み／自主防災組織の役割

(2) 学習項目の比較・分析

成果物①と、成果物②～⑥に示されている学習項目を比較する。その上で、仮設定した成果物①の学習項目では取り扱われていないが、成果物②～⑥では取り扱われている学習項目について分析し、今後整理・集約する。

2. リーダーの育成(活動)目標及び目標達成に必要な能力を踏まえた学習項目の再整理

- リーダーの育成・確保上の課題を克服するため、「求められるリーダーの条件」(資料1参照)やリーダーに求められる資質等から、今後、必要なリーダーの育成(活動)目標を設定し、目標達成に必要なとなる能力(知識、スキル、態度)を洗い出した上で、学習項目を再度整理する。(次回以降でご議論いただく予定)

手順

(1) リーダーの育成(活動)目標の設定

「求められるリーダーの条件」(資料1参照)やリーダーに求められる資質等から、必要なリーダーの育成(活動)目標を設定

(2) 目標達成に必要な能力の洗い出し

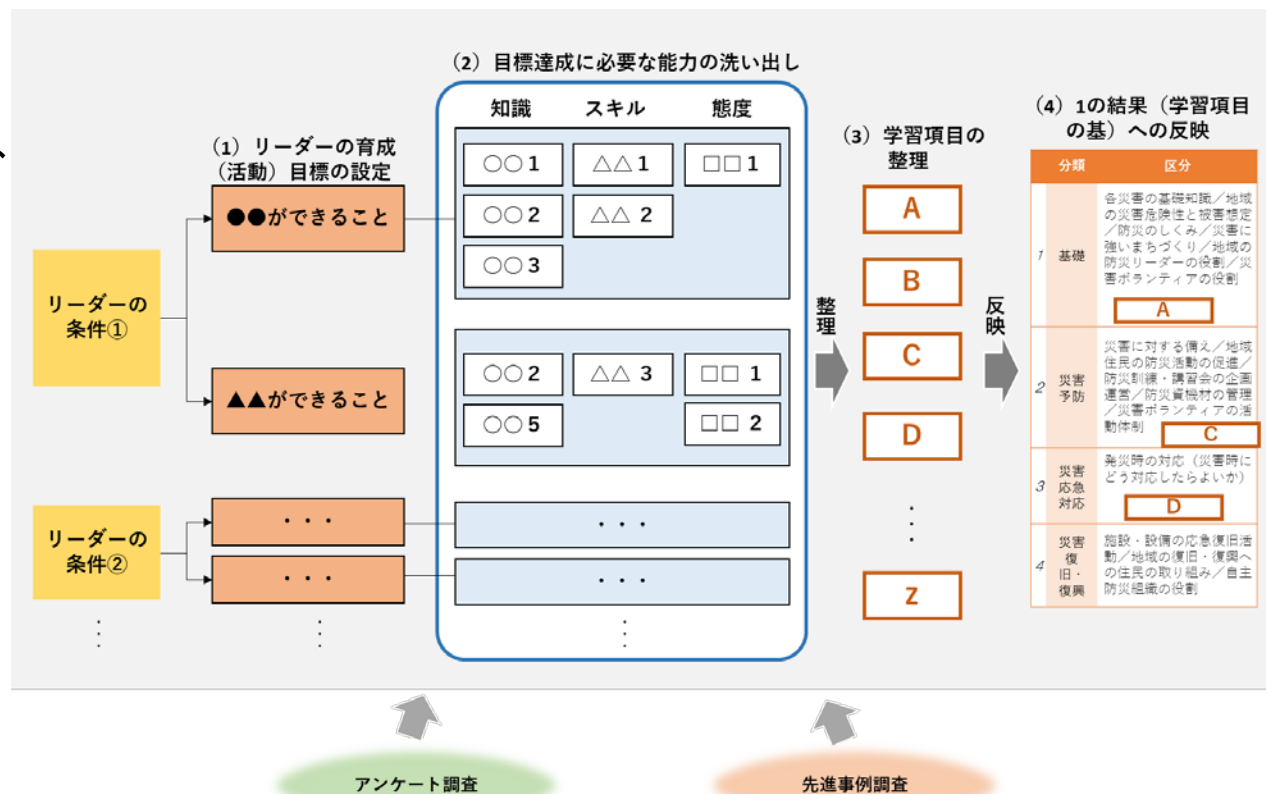
(1)で整理した各育成(活動)目標毎に、目標達成に必要な能力(知識・スキル・態度)を洗い出し

(3) 学習項目の整理

(2)で洗い出したすべての知識・スキル・態度を基に、学習項目を整理

(4) 既存成果物等から整理・集約した学習項目への反映

既存成果物等の整理により設定した学習項目に(3)を反映



3. カリキュラム全体像の作成

- 1及び2で作成した学習項目に対応した学習内容(学ぶべき事項)を今後設定し、対象とするリーダー向けのカリキュラム全体像を作成する。(次回以降で御議論いただく予定)

カリキュラム全体像(イメージ)

- 既存成果物等やアンケート調査、ヒアリング調査の結果から、各学習項目の中で具体的に身につける(学ぶ)べき具体的な内容について整理し、カリキュラム全体像を作成

	分類	区分(学習項目)		学習内容(学ぶべき事項)
		大項目	中項目	
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害	地震、津波、風水害、火山災害やその他の災害発生のメカニズム等についての知識を知る
				災害と被害の関係を知る
			過去の主な災害事例	「〇〇地震、△△地震、□□豪雨、◇◇噴火」における住民や自主防災組織のリーダーの対応事例、問題・課題について学ぶ
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性	自分たちのまちの地理的特性、社会的特性、危険箇所、過去の災害履歴、土地利用履歴等を知る
				地震被害想定・防災アセスメント結果・浸水予測図・火山ハザードマップ等について知る
		防災のしくみ	防災とは	...
			防災のしくみ	...
		
	地域の防災リーダーの役割	
	災害ボランティアの役割	
		A	...	
2	災害予防	災害に対する備え

4. 育成対象の中心となるリーダー向けカリキュラム、プログラム等の作成

- 組織の発達段階(「結成段階」・「初期」・「発展期」・「成熟期」)を踏まえ、育成対象の中心となる「結成段階」のリーダーが学ぶべきカリキュラム(学習項目・内容)の範囲を、カリキュラムの全体像を基に設定。
(次回以降御議論いただく予定)
- その上で、学習の流れや方法を検討し「研修プログラム・時間割」を作成する。なお、地域特性や、座学と演習の組み合わせによる学習方法の工夫等を加味し、「研修プログラム・時間割」を複数タイプ作成予定。

育成対象の中心となるリーダーが学ぶべき範囲の検討(イメージ)

分類	区分(学習項目)	区分(学習項目)		学習内容(学ぶべき事項)
		大項目	中項目	
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害	地震、津波、風水害、火山災害やその他の災害発生メカニズム等についての知識を知る 災害と被害の関係を知る
			過去の主な災害事例	「〇〇地震、△△地震、□□豪雨、◇◇噴火」における住民や自主防災組織のリーダーの対応事例、問題・課題について学ぶ
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性	自分たちのまちの地理的特性、社会的特性、危険箇所、過去の災害履歴、土地利用履歴等を知る 地震被害想定・防災アセスメント結果・浸水予測図・火山ハザードマップ等について知る
		防災のしくみ	防災とは 防災のしくみ	… …
		…	…	…
		地域の防災リーダーの役割	…	…
		災害ボランティアの役割	…	…
2	災害予防	災害に対する備え	…	…

「結成段階」のリーダーが学ぶべき範囲(イメージ)

(1) 学習範囲の設定

組織の発達段階を整理し、各段階のリーダーと育成目標を設定した上で、育成対象の中心となるリーダーが学ぶべきカリキュラム(学習項目・内容)の範囲をカリキュラム全体像を基に設定。

(2) 研修プログラム・時間割の作成(複数案)

(1)で設定したカリキュラムを、学習の流れ、方法、必要な時間を考慮して、段階的かつ適切に必要な事項を学んでいくための「研修プログラム・時間割」として整理。

なお、地域特性や、座学と演習の組み合わせの工夫等を加味し、「研修プログラム・時間割」を地域特性等に応じ複数タイプに分け作成予定。